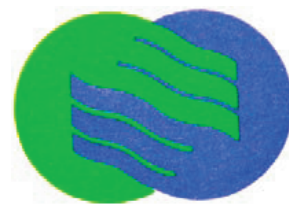


ANIC info



Association for
Nakano
International
Communications

中野区国際交流協会

2023
March

第6回 なかの国際交流フェスタ ～ウクライナ 会にいこう～

3年越しの再会!行けなかったニュージーランド・ウェリントンに行きました!
イベントレポート ニュージーランドから東亜学園に短期留学生
区新任職員向け「やさしい日本語研修」
日本語講座・書初め

お知らせ 春休み子ども日本語クラス
「やさしいにほんご」でいこう!
お力添えありがとうございました

編集後記



第6回なかの国際交流フェスタ

～ウクライナ 会にいこう～

コロナ禍で2年間ZOOMでの開催となったなかの国際交流フェスタですが、2023年2月10日(金)、雪まじりのあいにくの天気の中でしたが、開催いたしました。今回は「ウクライナ 会にいこう」をメインテーマに、なかのZERO小ホールで多くの人がパフォーマンスやスピーチ、歌などを披露しました。

アフリカの歌・リズム・ダンスを学んでいるグループ「ジャンベパラドゥンカ」によるジャンベ演奏

ジャンベのリズムでオープニング。曲は「ジンゴバ」。アフリカのヨルバ族の言葉で「ジン」は地球、「ゴ」はご先祖、「バ」は私。演奏することで会場にエネルギーを与えます。



ウクライナパフォーマンス「Stand with Ukraine Japan」

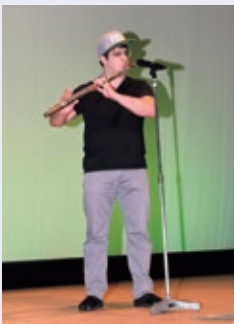
歌やギター演奏、ギターの弾き語りのパフォーマンスでした。言葉はわからなくても伝わるどこか切ないメロディの歌。なかには今回のロシアのウクライナ侵攻のあとでできたウクライナのために戦う歌もありました。アンコールのデュエットの時は会場全体が手拍子をして、ウクライナの旗を掲げたり、青と黄色のウクライナカラー長い風船を振って盛り上がりしました。

出演者は「多くの人がウクライナの音楽を聴き、ハンドメイドの雑貨に興味を持ってくれたことが嬉しかった。」ということでした。



イーストウエスト日本語学校のパフォーマンス

- ・ジョナスさん フルートを吹きました。
- ・「私の国・町」紹介 一人ずつ私の国や町、地元の食べ物などについての紹介をしました。
- ・「私のおすすめ」紹介 一人ずつ好きな場所等紹介しました。
- ・石国欽さん 平井堅の「Popstar」を歌いました。



1階・2階のロビーでは
いろいろな国のお菓子・雑
貨の出店がありました。

(ハワイ、スペイン、ニュー
ジーランド、韓国、フィ
リピン、日本、ウクライナ)



日本語スピーチ

- ・バスネット サンジャヤさん（ネパール）「日本とネパール」
- ・カ ピーチンさん（中国）「将来の夢」
- ・チェトリ ウイルソンさん（ネパール）「外国人の視点からの日本語」
- ・カニエ ハセルさん（フィリピン）「日本語のべんきょう」
- ・アーロン テータムさん（アメリカ）「野方の家族」

ANIC の学習者等がスピーチしました。日本に来て驚いたこと、母国との違い、中野に住む人のあたたかさ、将来の夢などについて、自分の言葉でスピーチしました。家族や友達も見に来て、応援してくれました。

スピーチ参加者からは「ドキドキした。」「緊張した。」「楽しかった。」「いい機会だった。」等の声がありました。



新大久保駅前壁画を描いた高岡洋介さんと 来場者で作り上げる段ボールアート

子どもも大人も高岡さんの描いたウクライナの旗を持ったエンジェルのそばに自分の好きなイラストやウクライナへの応援メッセージを描きました。



抽選会

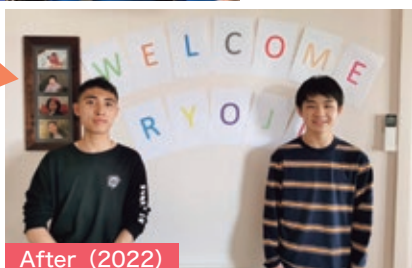
最後は入口で配った抽選券を使って抽選会！ウクライナグッズやお米5kg、カレンダー等が当たりました。来場者全員、カルビーのポテトチップス「冬ポテト」をもらいました。



3年ぶりの再会！ 行けなかったニュージーランド・ウェリントンに行きました！



Before (2019)



After (2022)

30年以上続いている「中野・ウェリントン子ども交流」では、中野とニュージーランド・ウェリントン市の双方の子どもが交互に訪問しあい、ホームステイや学校への体験入学や地域での交流などを行うことで、言語（日本語・英語）学習する機会を提供しています。2019年にはウェリントンの子どもたちが中野に来て、ホームステイや中学の授業の体験などをしました。2020年夏、今度は中野の子どもたちがニュージーランドに行く順番でしたが、残念ながら、コロナ禍となり、断念せざるを得ませんでした。その後学年も上がり、それぞれ中学を卒業し、高校生となり環境も中学生の時と変わり、2019年のホームステイ受け入れ時のメンバーでニュージーランドに行くことは難しくなっていました。しかし、個人個人でのやりとりは続き、いつかニュージーランドに行きたいと思いを膨らませていた人もいました。その中の一人、現在高校1年生になった藤田怜樹さんが冬休みを利用して、ウェリントンに行き、2019年藤田家にホームステイをしたRolandの家にホームステイをしました。

その体験レポートを寄せてくれました。

「3年ぶりの再会」

2019年9月に私はRolandをホストファミリーとして家族に迎え入れた。当時、私自身英語を話すことにほとんど自信がなく、両親からニュージーランドとのプログラムに申し込んだと聞いた時、私は嫌だったことを今でも覚えている。しかし、実際にRolandが家に来て生活を共にするうちに、嫌がっていたことを後悔した。一緒に学校に行ったり、剣道の部活に行ったり、明治神宮など東京の観光地をたくさん訪れた。Rolandとの2週間の生活によって、私は海外の人たちとのコミュニケーションの面白さと素晴らしさを学んだ。そして2020年にニュージーランドに行き、Rolandの家にホームステイすることがとても楽しかった。

しかし、新型コロナウイルスによりニュージーランドとの交流事業が中断し、いつニュージーランドに行き、Rolandに会えるか分からなくなってしまった。私はこの状況の中、Rolandと連絡を取り続けた。Onlineでゲームを行ったり、Skypeで話したり、メッセージを送り合った。そして2022年12月、ホームステイをしてRolandに会いたいという希望が叶い、クリスマスに成田空港を出発し、ついにニュージーランドを訪れることができた。

12月25日、ウェリントン空港にはRolandと父親のChiuさん、母親のWendyさん、妹のReginaが迎えに来てくれた。空港で再会した時、私は泣きそうになってしまった。とても驚いたことは、Rolandの日本語がとても上手になっていたことだ。3年前とは比べものにならない程、日本語を話せるようになっていて、私のホームステイの間、通訳をしてくれる程だった。Rolandはアニメが大好きで、アニメで日本語を勉強し、滞在中は2人でアニメの話で盛り上がるが多かった。

Rolandの家族はとても優しく、Chiuさんは、Putangirua PinnaclesやTepapa museumなどたくさんの場所に連れて行ってくれた。英語を聞き取るのは難しかったが、単語を聞き取って理解することができた。Rolandにはお祖母さんがいて、洗濯などの家事を行ってくれた。妹のReginaはボードゲームと一緒にやったりしてたくさん話かけてくれた。Wendyさんはニュージーランドの色々な料理を出してくれた。特に羊の足肉がとても美味しかった。本当の家族のように受け入れてくれて、2週間はあっという間だった。もしRolandの家族がホームステイを受け入れてくれなかったら、こんなにも素晴らしい体験は出来なかった。

まだまだ私は上手く英語を話せないが、Rolandと話すのは本当に楽しかった。もっともっと英語を話せるようになって、もう一度Rolandの家族に会って話をするのがとても楽しみだ。



年越しそばをふるまう



Putangirua Pinnacles
にて Roland の家族と

2022年3月 北中野中学卒 藤田怜樹

イベント / レポート

ニュージーランドから東亜学園に短期留学生

1月の3週間、ニュージーランドから東亜学園に、4人が短期留学をし、ANICの日本語講座でも勉強しました。みんな一生懸命真面目に日本語の学習に取り組みました。書初めや節分の豆まきも挑戦しました。

「日本語の勉強は難しいけど、楽しいです。」「日本で一番好きなのは東京ディズニーランド、二番目は中野、三番目は・・・たぶんANIC。」「ニュージーランドに帰っても日本語の勉強を続けようと思います。」「ニュージーランドは良いところなので、ぜひ遊びに来てください。」「先生もホストファミリーも親切でした。」

最終日は自分の言葉で日本語講座の皆の前で挨拶をしました。



豆まきのお面をつけた4人

区新任職員向け「やさしい日本語研修」

当協会が中野区より受託して、中野区新任職員向け「やさしい日本語」研修を開催しました。

講師には、NPO法人多文化子ども自立支援センター代表理事の中山真理子先生をお迎えし、「やさしい分かる日本語講座」のテキスト教材などを使いました。

研修には、実際に通じる「やさしい日本語」を試すために、中野区在住の外国人アシスタント2名の方も、研修をサポートしました。

終了後の研修アンケートでは、「今後の仕事の中で、外国人区民と接する機会があるときは、今回学んだことを活かしたい」、「自分のやさしい日本語が通じるか、実際に外国人アシスタントの方にチェックしてもらい、学びを深めることができた」などの声が寄せられました。



外国人アシスタントが研修サポート

日本語講座・書初め

1月の最初の日本語講座は書初めをします。普段以上に一文字一文字の「留め」や「ハネ」を意識し、集中して書きます。題材は元々用意してある手本から選ぶ人もいれば、好きな言葉や漢字を調べて、書く人もいます。初めて書初めをした人も、毎年書初めをしている人も、小学生から大人まで、学習者の個性が光る作品になりました。2月の中野駅高架下の「夢通り」で展示しました。3月も引き続き中野ブロードウェイにて展示しています。ぜひお買い物がてら、足を止めてみてください。



お気に入りの作品をもって

**中野ブロードウェイ
階段ギャラリーにて展示中**
日程：3月4日～26日



2月・中野駅ガード下にて展示中の様子

はるやすこにほんご 春休み子ども日本語クラス

日時 3月27日(月)、29日(水)、31日(金)、
4月3日(月)、5日(水) 10:00～12:00

対象 にほんごがくしゅう ひつような しょうがくせい ちゅうがくせい
日本語学習の必要な小学生・中学生

会場 なかのZERO西館3階 会議室1

登録料 なかのくみん えん た えん
中野区民2,000円 その他3,000円
(初めてANICで日本語を学習する人のみ)

教材費 えん
900円

申込 きょうかいまどぐち にしかん かい
協会窓口(なかのZERO西館1階)まで



「やさしいにほんご」でいこう!

3月は12年前に東日本大震災のあった月です。マンションの防災についての日本語を「やさしいにほんご」にしてみましょう。

★水・食料・トイレを備蓄しましょう

飲み水の備蓄が非常に大切です。

災害時には水が出なくなることも想定されます。

外で水を手に入れても、大量の水をエレベーターなしで上層階に運ぶのは困難であり、食料についても同様のことが言えます。そのためマンションにお住まいの方は、目安として7日分程度の備蓄をしましょう。

また大地震の後は、しばらくトイレの水を流してはいけません。

地震でマンション内の排水管が壊れると、低層階で下水が漏れ出し、建物全体の被害につながります。排水管の損傷がないことを確認できるまでの備えとして簡易トイレを備蓄しておきましょう。

「やさしい
にほんご」
にすると



★1週間の食べもの・水・かんたんトイレ
を家に準備します。
水を持ってマンションの上まで大変です。
家に準備します。
トイレは地震でこわれます。流しません。
かんたんトイレを準備します。



お力添えありがとうございました

この一年に、ご寄付・ご協力
いただいた方々です。(敬称略)



渡辺和子、和田裕子、吉川道代、西村孝雄、長谷川神太郎、倉持明夫、石原 修、宇野和代、鈴木直江、アライレン、岩村奈々美、吉田しづよ、(株)ジェイコム東京 杉並・中野局、IN COM(株)、森下 亮

編集後記

街中で外国人を見かけることが、また少しずつ増えてきたような気がします。いざ困っている人を見かけたときに、手助けしたいとおもった時に、「やさしいにほんご」を意識して話そうとおもいます。(M)

